合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

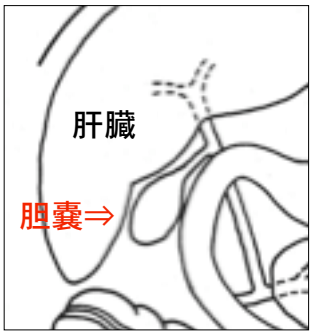
平成16年05月
第21号

合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：介護保険

現在、介護保険制度をご利用の方は大勢いらっしゃいますが、どのような制度かよくご存知ない方もおられるかと思います。そこで今回は介護保険制度について概説致します。日本では高齢化が急速に進んでおり、寝たきりや痴呆の高齢の方が増加しています。以前はこのような方の介護は家族が行うものとされていました。また社会的入院といって病院に長期間入院されている場合もありました。しかし家庭での介護は家族の負担が極めて重く、また長期間の入院も医療としては不適切であるため、社会全体で介護を行おうという目的で平成１２年に介護保険制度が創設されました。介護保険では４０歳以上の方が保険料を納め、６５歳以上の方、あるいは４０歳以上で特定の病気のために介護を必要とする方がサービスを受けることができます。サービスを受けるためにはまず市役所などの介護保険課に申請をする必要があります。申請受付後、調査員による詳細な実地調査が行われ介護の必要性を調べます。またかかりつけ医より介護に関しての意見書が提出されます。この２つを基にして全く介護を必要としない元気な場合である自立から寝たきりで自分では全く何もできない要介護５まで７段階の判定をします。介護保険では１割の負担でサービスを受けることができますが、介護度に応じて限度額が決まっています。介護度が決まった後はケアマネージャーに連絡します。ケアマネージャーは介護の専門家でデイサービスセンターなどにいて各自の必要とする介護（デイサービス・訪問看護・ヘルパーなど）を限度額内で組み合わせて実際のプランを作成します。介護の認定は半年から１年毎に見直され、その時点で再度プランを作成することになります。宝塚では現在１年間に８０００件以上の介護保険の新規申請・再審査が行われており、年々増加しつつあります。私（合田潔）も宝塚市介護保険認定審査委員会委員として月に一度市役所に赴き皆様の介護度を判定しています。介護保険は実施されてから日が浅く財源不足など多くの問題をかかえており、分かりにくい制度です。これからもどんどん制度が変更されていくものと思われます。介護保険に関してご質問や疑問がおありの方は私（合田潔）にお気軽にお尋ね下さい。

病気の知識：外科編：⑥ 胆嚢癌



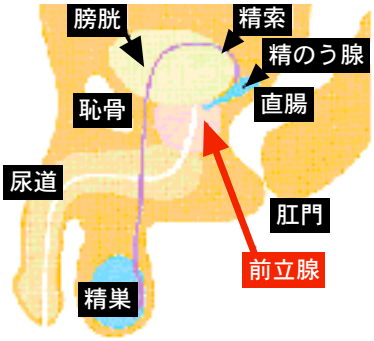
胆嚢は肝臓の下面に存在する袋状の内臓です。肝臓で造られた胆汁という消化液を濃縮する働きをしています。胆嚢にできる癌が胆嚢癌ですが、６０歳以上の女性に多いと言われています。胆嚢癌は早期には症状が無く、殆どが進行してから見つかります。進行すると黄疸や腹痛が生じますが、この時点では治療は困難です。手術が可能であれば助かる可能性がありますが、大手術となります。胆嚢癌は胆石に合併することが多く、特に高齢の女性で胆石のある方は定期的に検査をして胆嚢癌の有無を調べて下さい。

医院よりのお知らせ

①平成１６年度宝塚市民検診のお知らせ

本年４月より平成１６年度の宝塚市民検診が始まりました。当院では血液検査・尿検査・心電図などの基本検診、レントゲンによる肺癌検診、検便による大腸癌検診、診察による乳癌検診を行っております。国民健康保険に加入している方などには市より健康センターでの検診の案内が来ますが当院では宝塚市より委託されて健康センターで受けるのと全く同じ検診を行っています。小浜の健康センターまで出向いて行くのは大変ですからぜひ当院でお受け下さい。宝塚市民検診は国民健康保険に加入している方、または７０歳以上の方でしたら誰でも無料で受けることができますし、また普段は健康保険の規則でなかなかできないような検査もできますので年に一度検診を受けて自分でも気付いていない病気を早く見つけるようにしましょう。

②前立腺癌検診開始のお知らせ



平成１６年度より市民検診に前立腺癌検診が加わりました。前立腺癌では血液中にＰＳＡと呼ばれる物質が増えますが、前立腺癌検診では血液検査でＰＳＡを測定します。この検査は大変に有用で症状のない段階の前立腺癌の方を見つけることができ、多くの命が救われています。費用は１０００円かかりますがそれだけの価値のある検査です。当院でも実施していますので特に高齢の男性の方はぜひ受けるようにして下さい。

③宝塚市医師会創立５０周年記念講演会（再掲載）

宝塚市医師会は宝塚市の誕生と共に昭和２９年に創立致しましたが、本年は創立５０周年にあたります。そこで現在記念講演会を計画しております。本年９月１８日（土）に宝塚ホテルで長寿の研究の第一人者でカスピ海ヨーグルトを日本に紹介された家森幸男京都大学名誉教授をお招きして市民の皆様にお話をしていただきます。食品と長寿の関係など興味深いお話ですのでぜひともご参加お願い致します。

薬の知識：③ 抗真菌剤

真菌は普通の細菌とは構造の異なる菌です。皮膚糸状菌・カンジダ・アスペルギルス・クリプトコッカスなどの種類がありますが、通常はあまり問題になることはありません。しかし手術後やＡＩＤＳなど体の抵抗力が弱るような場合には真菌による感染が起こり易く、肺炎などを起こし非常に重篤になることもあり得ます。真菌による感染で最も一般的なものは水虫です。水虫は白癬症とも言いますが、健常な人でも皮膚表面には真菌が感染することがあり、水虫となります。また爪に感染して分厚く濁った爪になる爪白癬症もよく見られます。当院では真菌のうち水虫に対しての外用薬としてクリーム製剤（アトラント・ラミシール）や液体製剤（アトラント）を用いています。但し爪白癬症ではこのような外用薬では効果が低く、内服薬（グリセチンＶ）が必要となります。爪白癬症では患部に薬が浸透するのに時間がかかり６ケ月以上薬を飲み続けなければなりません。家族の人などに感染することがよくありますので爪白癬症も治療しましょう。

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

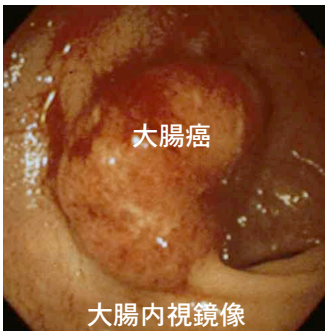
平成16年07月
第22号

合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：健康食品

最近よく「～に効く！」や「～が直った！」などど謳っている健康食品の広告が目につきます。こういった健康食品に関心をお持ちの方も大勢いらっしゃることと思いますが、中にはいかがわしい商品も多く、注意が必要です。「健康食品」という言葉にははっきりとした定義や法律上の規定はありませんが、一般的には普通の食品よりも健康によいと称して売られている食品を指している場合が多いようです。しかし健康食品はあくまで「食品」であるので、医薬品として認められているような効能効果は標榜できません。ですから「癌が直った！」や「リウマチに効く！」などと謳っている物はそれだけで薬事法違反のインチキ商品であるということになります。また論文や体験談から販売業者に都合のよい部分のみを引用したり、ごく一部の成功例をことさら強調したり、「食べるだけでやせる」など簡単に効果が現れると思わせるような広告も見受けられます。効果があると思わせる商品の中には、科学的な裏付けがないものや客観的な事実に基づかないものも多く、真に受けてかえって正しい医療を受ける機会を失い、病気を悪化させるおそれもあります。医薬品の場合には何百億円という膨大な開発費と何十年という時間をかけ、効果と安全性の厳しい評価を経て、ようやく販売されることになります。それでも販売後に思わぬ副作用が生じたり、期待されたほどの効果があがらない場合もあります。ましてや健康食品はこのような厳しい規制を受けていませんので、あまり多くを期待するのは禁物です。特に一度に大量の商品を買わせようとしたり、分割払いで無理なく払えるからと高額な契約を結ばせようとする業者はほぼ間違いなく詐欺だと思って下さい。また最近は個人輸入で海外のダイエット商品なども手に入りますが、過剰に服用して死亡する例もあります。このような場合には自己責任を問われて何の保証もありません。健康食品に対しては特別の効果を期待するのではなく、不足気味の栄養素を補助する位のつもりでいた方がよいでしょう。なお健康食品には厚生労働省が安全性や有効性を考慮して基準を設け許可した「保健機能食品」と呼ばれる物もあり、これらは比較的安全と思われます。

病気の知識：外科編：⑦ 大腸癌



大腸内視鏡像

大腸は消化管の終わりの部分にあり、主として水分を吸収する働きをしています。大腸にできる癌が大腸癌ですが、食事が欧米化したことにより、昔に比べて大変増加しています。大腸癌の症状は様々です。腹痛・腹部膨満・便秘などが生じることもありますが、なかなか症状がでない場合もあり無症状だからといって安心できません。大腸癌は大腸ポリープより発生することが多く、定期的な検便の検査で早い段階で見つけることが大切です。年に一度は市民検診の大腸癌検診を受診しましょう。

医院よりのお知らせ

①夏の体調管理を万全に！！

随分と蒸し暑く感じられる日が多くなってきました。クーラーをおつけの方も大勢いらっしゃるでしょうが、夏の間の体調管理に気を付けましょう。この季節特有の病状には冷房病や熱中症があげられます。冷房病は体が冷えたり、疲れてだるくなったりするなど、冷房が原因で起こる様々な症状の総称です。冷房病を防ぐ最も重要なことは室内の温度を下げ過ぎないことです。外気温との差が５度以内になるようにクーラーを設定して下さい。また冷風が直接当たらないようにし、冷房がきつい場所に出かける場合には一枚はおりましょう。一方、熱中症は暑さによって起こる障害の総称です。症状は様々ですが中には命にかかわる重篤な場合もあります。高温多湿で風がなく日射しが強い時によく起こりますが、暑い室内で過ごしている時に起こることもあります。熱中症を予防するためには十分な水分補給が重要です。目安としてはコップ一杯のぬるめの水を１５分毎に飲むようにして下さい。また長時間の作業など汗をよくかく場合には塩分が少し入った飲料にしましょう。熱がこもらないような服装にすることも大切です。

②宝塚市医師会創立５０周年記念講演会（再掲載）

宝塚市医師会は宝塚市の誕生と共に昭和２９年に創立致しましたが、本年は創立５０周年にあたります。そこで本年９月１８日（土）に宝塚ホテルで長寿の研究の第一人者でカスピ海ヨーグルトを日本に紹介された家森幸男京都大学名誉教授をお招きして市民の皆様にお話をして頂きます。食品と長寿の関係など興味深いお話ですのでぜひお聞き下さい。（８月１日号の宝塚市広報に詳細掲載します。）

③夏期休診

８月中旬のお盆の時期に例年通り夏期休診とさせて頂きます。御来院の皆様には御迷惑・御不便をおかけ致しますが宜しく御了承お願い申し上げます。日程は後日、掲示致します。

薬の知識：④ 降圧剤

降圧剤は血圧を下げる薬剤で高血圧症の治療に用いられます。血圧はちょとしたことで変動するので、正しい血圧を知るためには何回か測定しなければなりませんが、おおむね１４０／９０の何れかを越えているようならば高血圧症と考えます。高血圧症は直ちに対処しないと危険な場合もありますが、通常は基準値を越えているからすぐにどうこうなるという訳ではありません。問題になるのはたとえ少しだけ高目の血圧でも長年続くと動脈硬化が進行し内臓障害（脳・心臓・腎臓など）が起こってくることです。高血圧症ではまず運動・禁煙・塩分減量などを試み、降圧が不十分な場合に初めて降圧剤の適応となります。当院ではノルバスク・コニール・ニフェラート・セレクトール・トリクロン・レニベース・ブロプレス・ニューロタン等の降圧剤を使用しています。降圧剤の治療では一種類だけでは効果が不十分で、いくつか働きの異なる薬剤を組み合わせて血圧をコントロールする場合もあります。まずは自分の血圧を測定してみましょう。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成16年09月
第23号
合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：乳癌検診

乳癌の検診をお受けになったことはありますか？乳癌は女性の癌による死亡の第２位を占めており、今後も益々増加していくと考えらています。我が国では１９８７年より老人保健事業という国の政策に基づいて乳癌検診が行われてきました。従来は主として視触診による検診が実施されていましたが、近年検診の有効性に疑問が生じるようになってきました。視触診というのは文字通り乳房を視ることによって全体の形状や皮膚の状態を判断し、乳房を触ることによって異常なしこりがないかを調べる診察法ですが早期の乳癌を発見するには不十分です。朝日新聞のキャンペーンでも謳われていたように検診時の見落としなども少なからず存在していました。また検診を行っても乳癌による死亡が減少しないということが明らかとなってきました。そこでより効果的な乳癌検診を実施する為にレントゲンを利用すべきであるという声が専門家の間から高まり、２００４年４月に厚生労働省より自治体に通達がだされました。この通達では乳癌検診は４０歳以上の女性を対象として２年に１度レントゲンを用いた検診（マンモグラフィー）を行うように求められています。マンモグラフィーというのは特殊な装置を用いて乳房をはさみこんでレントゲンを撮影し、乳癌に特徴的な異常を検査する方法で、海外においては乳癌検診の標準的な方法となっています。数々の研究よりマンモグラフィーを用いた乳癌検診によって乳癌の死亡率が減少することが明らかとなっており、日本も遅ればせながらようやく国際水準に追い付くことになった訳です。厚生労働省では平成１７年よりの開始を求めていますが、高額な装置が必要であることや、熟練した医師・放射線技師が必要であることよりマンモグラフィー導入は容易ではありません。現在宝塚市では宝塚市医師会と協議してマンモグラフィー検診の実施に向けて調整を行っています。私（院長：合田潔）も医師会理事としてマンモグラフィー検診の早期実現を目指しています。

マンモグラフィー検査の実際

病気の知識：外科編：⑧ 乳癌

マンモグラフィー写真

乳癌は乳房の中の乳汁を分泌する乳腺という組織にできる癌です。症状はしこりを触れるということが大部分で、通常は痛みを伴うことはありません。我が国では年間３万人程の方が乳癌と診断されており、年々増加しています。以前は乳癌の治療は胸の筋肉まで切除する大きな手術が殆どでしたが、最近では乳房温存手術といって、乳房を部分的に切除する手術が主となっています。また抗癌剤等の薬剤を用いた治療も進歩しています。まずは早期発見が重要ですので、御自分でできる自己検診を始めてみませんか？

医院よりのお知らせ

①インフルエンザワクチン

まだまだ残暑の厳しい毎日とはいえ、一時期に比べると随分と朝夕が過ごし易くなってきました。さて、当院では今年も例年どおりインフルエンザワクチンの接種を行ないます。昨シーズンはＳＡＲＳの影響でインフルエンザワクチンの接種を希望される方が非常に多く、中盤以降ではワクチン不足が顕著となりました。今シーズンは政府も十分なワクチンを用意しているようですが、時期が遅くなるとまた不足するのではないかと危惧されます。特に６５歳以上の方、また何か持病のある方はインフルエンザに罹ると重症化しかねませんので、早めに受けるようにしましょう。１０月中旬より接種開始予定です。なお、小さなお子様（１３歳未満）で接種を希望される場合は接種量が少ないため、ワクチン有効利用の点からも兄弟姉妹等できるだけ複数での接種をお願い申し上げます。

＜インフルエンザワクチン接種料金＞

	お一人	お二人以上
65歳以上	1000円／人	1000円／人
13歳以上65歳未満	4000円／人	3000円／人
13歳未満	3000円／人	2000円／人

左表は宝塚市民の方の場合です。６０歳以上で特定の疾患のある方（身体障害１級等）は１０００円で接種可能な場合がありますので受付にお尋ね下さい。

②「日刊！！合田　潔」開設

合田外科ホームページ（URL:　http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm）を以前より開設しておりましたが、この度、院長（合田潔）の個人的ウエッブログ（URL:　http://kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp/）も新たに開設致しました。合田外科ホームページよりリンクを貼っています。このホームページは「でぶっちょ院長奮戦記」と謳って毎日更新しています。御興味がおありの方はぜひ見てみて下さい。コメント大歓迎です。

薬の知識：⑤ 高脂血症治療剤

血液中の脂（脂質）は主としてコレステロールと中性脂肪に分けられます。多くの研究よりコレステロール値が高いと狭心症や心筋梗塞などが起こり易いことが明らかとなっており、また中性脂肪も動脈硬化を促進すると考えられています。中性脂肪は食事内容や飲酒量に強く影響され、高値の場合には生活改善で対処することも可能ですが、コレステロールでは内因性といって肝臓で合成される割合が高い方が多く、生活改善だけではなかなか低下しない場合が見られます。このような場合にはスタチン系という薬剤で肝臓でのコレステロールの合成を阻害する治療が行われます。スタチン系の薬剤は我が国で開発され、現在世界中で様々な種類の物が広く使われており、安全性も高い薬剤です。当院ではコレステロール治療薬としてスタチン系のメバロチン・リピトールを使用しております。また中性脂肪が高値を示す方にはベザトール・エパデール等の薬剤を用いています。元気で長生きをする為に、コレステロールと中性脂肪に気を付けましょう。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成16年11月
第24号
合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：痴呆

わが国での痴呆の発症率は６５歳以上では５歳毎に倍々に上昇し、８５歳を越えると４人に１人が痴呆状態になると言われています。私（院長：合田潔）は委員として宝塚市の介護保険の認定審査に関わっていますが、確かに痴呆の方は増加しているように感じられます。「最近、なんだか忘れっぽくなった。」と痴呆を恐れていらっしゃる方もおられるでしょうが、そもそも４０歳を過ぎた頃から脳の老化は始まっており、年をとると多少の物忘れは出てきてもおかしくはありません。痴呆の場合には通常の老化による以上に脳の障害のために様々な症状が出現し、判断力自体が低下したり、自分が体験したことの一部ではなく全体を忘れてしまったり、また忘れたことすら自覚しなくなり、日常生活に支障をきたすようになります。例えば食事がすんだことや物を片付けたことを忘れて騒いだり、迷子になったり、家族の顔が判らなくなったり、料理ができなくなったり、道具が使えなくなったりし、進行すると食事やトイレなどの生活全般に介護が必要になってきます。痴呆の原因は様々ですが最近はアルツハイマーによるものが増えています。右の表は痴呆を簡単に検査する長谷川式検査法と呼ばれるもので、痴呆の有る無しを推測するためによく使われています。２０点以下は痴呆の可能性があると言われています。皆さんは大丈夫ですか？

長谷川式簡易知能評価スケール改訂版

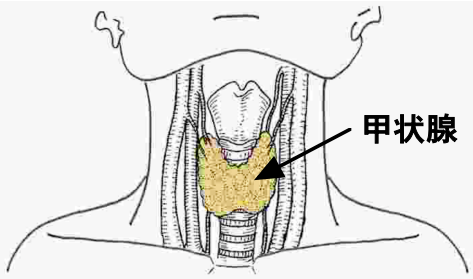
（検査日：　　年　　月　　日）　　（検査者：　　）

氏名	生年月日：　年　月　日	年齢：　歳
性別：　男・女	教育年数：　年	検査場所：
診断：	（備考）	

1　お歳はいくつですか？（２年までの誤差は正解）		0 1
2　今日は何年の何月何日ですか？　何曜日ですか？	年 月 日 曜日	0 1 0 1 0 1 0 1
3　私たちが今いるところはどこですか？（自発的にでれば２点、５秒おいて家ですか？ 病院ですか？ 施設ですか？ の中から正しい選択をすれば１点）		0 1 2
4　これから言う３つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。（以下の系列のいずれか１つで、採用した系列に○印をつけておく） １：a）桜　b）猫　c）電車　２：a）梅　b）犬　c）自動車		0 1 0 1 0 1 0 1
5　100から７を順番に引いてください。（100－７は？、それからまた７を引くと？　と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る）	(93) (86)	0 1 0 1
6　私がこれから言う数字を逆さから言ってください。（~~6-8-2、3-5-2-9~~を逆さに言ってもらう、３桁逆唱に失敗したら、打ち切る）	2-8-6 9-2-5-3	0 1 0 1
7　先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。（自発的に回答があれば２点、もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば１点）　a）植物　b）動物　c）乗り物		a：0 1 2 b：0 1 2 c：0 1 2
8　これから５つの品物を見せます。それを隠しますので何があったか言ってください。（時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの）		0 1 2 3 4 5
9　知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。（答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒間待ってもでない場合にはそこで打ち切る）０～５個＝０点、６個＝１点、７個＝２点、８個＝３点、９個＝４点、10個以上＝５点		0 1 2 3 4 5
	合計得点	

〈注１〉30点満点で、20点以下のとき、痴呆の可能性が高いと判断される。
〈注２〉痴呆の重症度別の平均点　非痴呆：24.3点、軽度痴呆：19.1点、中等度痴呆：15.4点、やや重度痴呆：10.7点、非常に高度痴呆：4.4点

病気の知識：外科編：⑨ 甲状腺癌



甲状腺は気管の前にある蝶型の内臓でホルモンを分泌して体全体の代謝を調整しています。甲状腺にできる癌が甲状腺癌ですが、いくつかの種類があり、中には極めて悪性の物もあります。初期には症状はあまりありませんが、喉が腫れてきたり声が嗄れてくるようなら要注意です。超音波検査を行うと非常に小さい癌でも簡単に発見できますので、心配な方は一度検査を受けてみましょう。治療は手術が主ですが、放射線や抗癌剤を組み合わせることもあります。

医院よりのお知らせ

①インフルエンザワクチン

１０月１５日よりインフルエンザワクチンの接種を開始しました。特に高齢の方や持病のある方はインフルエンザにかかると重症化し易く、時には命に関わる場合もありますのでぜひ接種するようにして下さい。今シーズンはアメリカではワクチン製造のミスによって４０００万人分のワクチンが不足しており、ワクチンの奪い合い、盗難、また屋外での長時間のワクチン接種待ちで熱中症を起こし亡くなられた方もあるようです。幸い日本では２０００万本のワクチンが準備されており、計算上は十分な数なのですが、時期が遅くなると毎年のようにワクチンが不足するようになりますので早めに接種しましょう。なお、小さなお子様（１３歳未満）で接種を希望される場合は接種量が少ないため、ワクチン有効利用の点からも兄弟姉妹等できるだけ複数での接種をお願い申し上げます。

＜インフルエンザワクチン接種料金＞

	お一人	お二人以上
65歳以上	1000円／人	1000円／人
13歳以上65歳未満	4000円／人	3000円／人
13歳未満	3000円／人	2000円／人

左表は宝塚市民の方の場合です。６０歳以上で特定の疾患のある方（身体障害１級等）は１０００円で接種可能な場合がありますので受付にお尋ね下さい。

②宝塚市医師会医療マップ

宝塚市医師会は今年で創立５０周年を迎えました。これを記念しまして市内の医師会会員の医院や病院の地図・住所・電話番号・診療科目・診療時間・休診日などを掲載した「宝塚市医師会医療マップ」を医師会にて作成致しました。数に限りがあるため希望される方全員にお配りすることはできませんが、近隣の仁川・小林・逆瀬川の部分をダイジェスト版として当院で独自にまとめましたので、御希望の方は受付にお申し出下さい。

薬の知識：⑥ 糖尿病治療剤

糖尿病はインスリンという血糖を下げるホルモンが十分に働かなくなり、慢性的に高血糖が続く病気です。ひどい場合には多飲・多尿・全身倦怠感などの症状がでますが、多くの場合は自覚症状はありません。未治療の場合やまた十分な血糖コントロールができていない場合には糖尿病による合併症が進行していきます。特に眼・腎臓・神経に合併症が起こり易く、失明や腎不全による透析、また難治性の痺れがよく見られます。早くから糖尿病に気付いて食事や運動に注意すると共に、定期的な検査で状態をチェックし、適切な薬を使用することが大切です。当院ではインスリンの分泌を促すオイグルコン、全身でのインスリンの効きを改善するアクトス、食べた物の吸収を妨げることによって血糖の上昇を抑えるベイスンなどの飲み薬を使用しています。こういった薬が効きにくい場合にはインスリンの注射が必要となります。インスリンの注射は御自分でしていただかねばなりませんので大変ですが効果的です。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成17年01月
第25号
合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：フィブリノゲン製剤によるC型肝炎

昨年１２月に厚生労働省より「Ｃ型肝炎ウイルス検査受診の呼びかけ」が出されました。これはフィブリノゲン製剤の投与を受けた可能性のある方に向けられたものです。フィブリノゲン製剤は、人の血液の成分を原料とした医薬品の一種ですが、かつては手術や出産などで大量出血をした場合に、血を止める目的でよく使われていました。人の血液の中には元々血を止める性質の物質があり、フィブリノゲンもそういった止血物質の一つです。しかし、フィブリノゲン製剤が頻繁に使用されていた当時は原料の人の血液に混入した肝炎ウイルス（特にＣ型肝炎ウイルス）に関しての詳細が十分に判明しておらず、また肝炎ウイルスを不活性化するための技術が十分でなかったことから、平成６年以前にフィブリノゲン製剤を投与された方々は、肝炎ウイルスに感染している可能性が一般の方より高いと考えられます。Ｃ型肝炎は慢性肝炎から肝硬変・肝臓癌を引き起こす大きな原因です。日本では数百万人の方がＣ型肝炎にかかっていると言われていますが、戦後の混乱期（売血・入れ墨・注射回しうち）に広がりました。Ｃ型肝炎はＣ型肝炎ウイルスという微小な病原体によって引き起こされますが、このウイルスは血液を介して人から人に感染します。もちろんフィブリノゲンが唯一の原因ではありません。基本的には血液に触れない限りは感染を心配する必要はありませんが、①平成４年以前に輸血を受けた方、②長期に血液透析を受けている方、③非加熱血液凝固因子製剤を投与された方、④フィブリノゲン製剤（フィブリン糊としての使用を含む。）を投与された方、⑤大きな手術を受けた方、⑥臓器移植を受けた方、⑦薬物濫用者・入れ墨をしている方、⑦ボディピアスを施している方などはＣ型肝炎にかかっている可能性がありますので検査を受けた方が良いでしょう。血液検査で簡単に判ります。Ｃ型肝炎に対しては色々な治療法が開発されており、早い段階で発見されれば、それだけうまく対処することができます。症状が無いからといって放置しておくと、多くは手の施しようがないような状態になってしまいますので、早期に発見しましょう。なお当院ではフィブリノゲン製剤は現在に至るまで使用しておりません。

病気の知識：外科編：⑩ 下肢静脈瘤

下肢静脈瘤は足の静脈の流れが悪くなり、血管が瘤のように膨らむ病気です。主婦など立ちっぱなしの方によく見られます。最初の間は見かけが悪いだけで、特に症状はありませんが、ひどくなると足が疲れ易くなったり、傷ができても治らなくなってきます。大きな症状が無ければ弾性ストッキングというきつい靴下で押さえておくだけでもいいのですが、ひどくなると手術が必要です。手術は血管外科で行いますので静脈瘤でお困りの方は御相談下さい。専門医を紹介致します。

医院よりのお知らせ

①新年の御挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は皆様にとってどのような一年間でしたか。我が家では春に長女（怜加）が生まれ、よりいっそう賑やかになりました。【右の写真の左側が長女（怜加）で右側が長男（壮汰）です。】今年が皆様にとって良き一年間となりますよう心から願っております。歯科共々、今年もどうか宜しくお願い申し上げます。

平成１７年　元旦　　合田外科院長　　合田　潔

②花粉症に御注意を！！

スギやヒノキの花粉が飛ぶ量（飛散量）は前年の夏の気温が高くて日射量が多いと増加します。昨シーズンは一昨年の冷夏の影響で飛散量は少なくてすみました。しかし昨年のあのひどい猛暑の為に今シーズンは大量に花粉が飛ぶと予測されています。２月の中旬頃より飛散しだすと予想されていますが、暖冬の場合にはもっと早まる可能性もあります。花粉症はアレルギー体質が原因なので根本的な治療は体質改善しかなく、一朝一夕ではどうにもなりませんが、飛散の前から抗アレルギー剤を服用すると症状は大分抑えることができます。特に毎年のように花粉症に悩まされている方は１月から抗アレルギー剤を服用するようにしましょう。花粉症のことは当院にお気軽に御相談下さい。

③混合診療問題

マスコミ報道で御存知のように混合診療問題が決着しました。混合診療は非常に判りにくい話ですが、要は経済界による利潤追求の為の国民皆保険制度の破壊ということです。私達、医療人は世界に冠たる国民皆保険制度を守る為にこれかれもがんばりますので、宜しく御協力お願い申し上げます。

薬の知識：⑦ 抗アレルギー剤

アレルギーは国民の３割が罹っている国民病です。花粉症、喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどアレルギーが起こる場所によってそれぞれ症状が異なるのが特徴です。アレルギー反応自体は正常な免疫反応の一種です。アレルギーを起こす物質（抗原、アレルゲン）が来ると体の中のマスト細胞（肥満細胞）という特殊な細胞から化学物質を大量に含んだ顆粒が放出され、その化学物質の為に発赤、かゆみ、平滑筋の収縮といったアレルギー炎症反応が起ります。このようにアレルギーは正常な反応とはいえ、自分にとって不利な反応として現れてくるのです。アレルギー反応の出方は人によって異なり、根本的に改善するのは困難ですが、抗アレルギー剤によってある程度コントロールすることは可能です。当院ではネオマレルミン、アプラチン、クロコデミンなどの内服薬、リンデロン軟膏・クリーム、トプシムローションなどの外用薬、ザジトマ点眼薬など多彩な薬剤を用いてアレルギーに対処しています。